

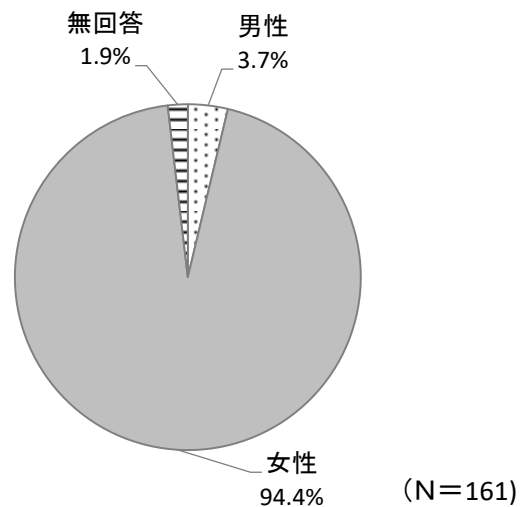
子育てアンケート集計結果

- 総合計画策定にあたり、市内で子育てをしている保護者の方を対象に、各種検診の機会を活用してアンケート調査を行いました。
- 本アンケートの回収数は 161 通です。

1. 保護者の状況

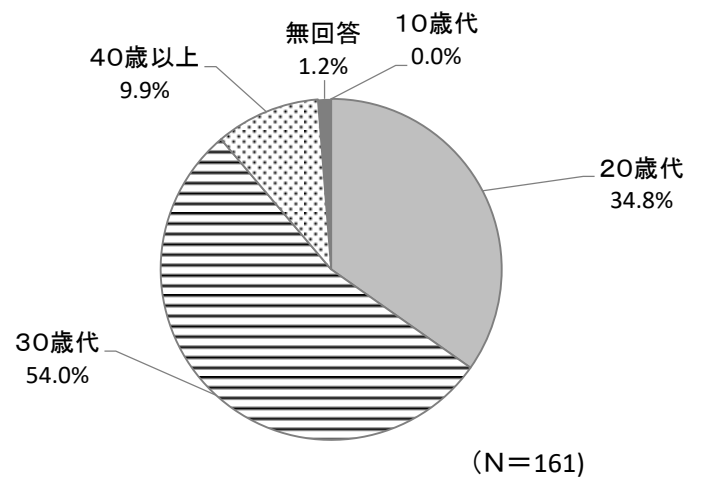
① 性別

- 回答者の性別は、94.4%が「女性」となっています。



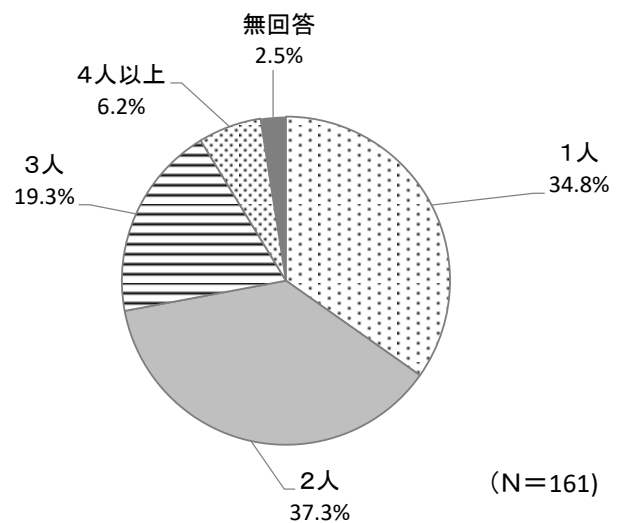
② 年齢

- 回答者の年齢は、「30歳代」が54.0%と最も多く、次いで「20歳代」となっています。



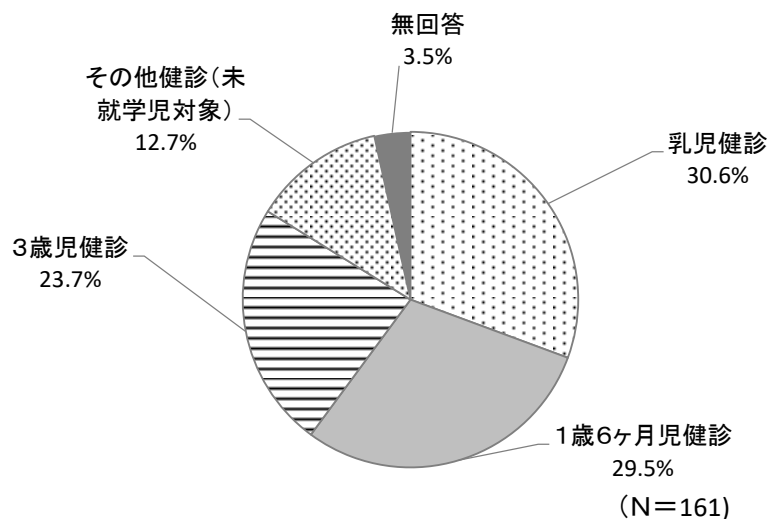
③ お子さんの人数

- お子さんの人数は、「2人」が37.3%と最も多く、次いで「1人」となっています。
- 「3人以上」の方も、約25%となっています。



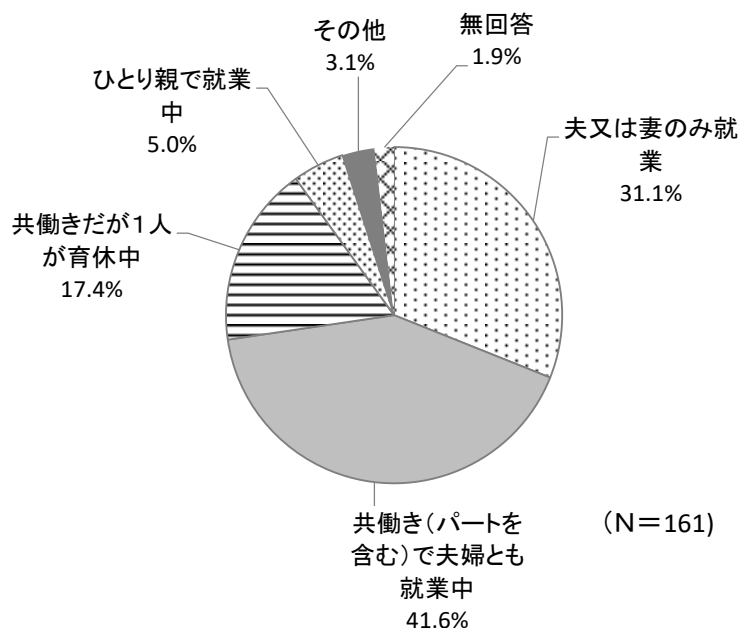
④ 受診された健診の種類

- 受診された健診の種類は、「乳児健診」が30.6%と最も多く、次いで「1歳6ヶ月児健診」の順となっています。



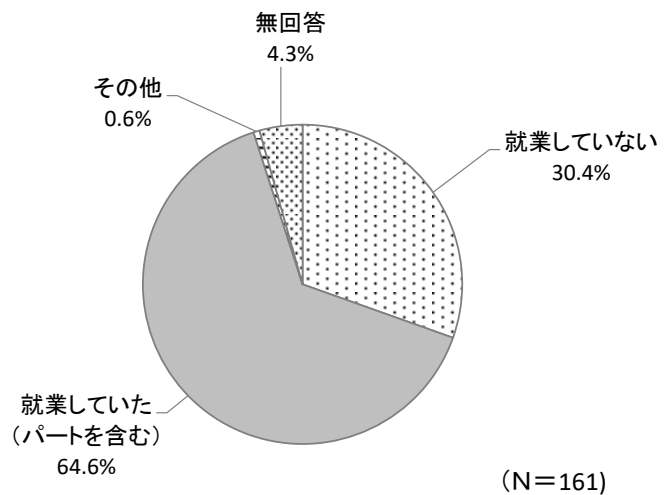
⑤ 現在の家庭の就業状況

- 現在の家庭の就業状況は、「共働き（パートを含む）で夫婦とも就業中」が41.6%と最も多く、次いで「夫又は妻のみ就業」となっています。



⑥ 今回受診されたお子さんの妊娠時の就業状況（母親に限る）

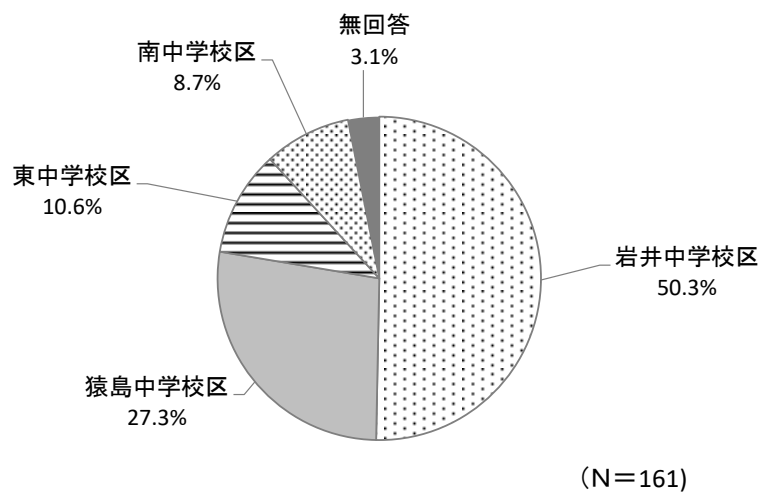
- ・今回受診されたお子さんの妊娠時の就業状況（母親に限る）は、「就業していた（パートを含む）」が64.6%となっています。



2. お住まいの状況

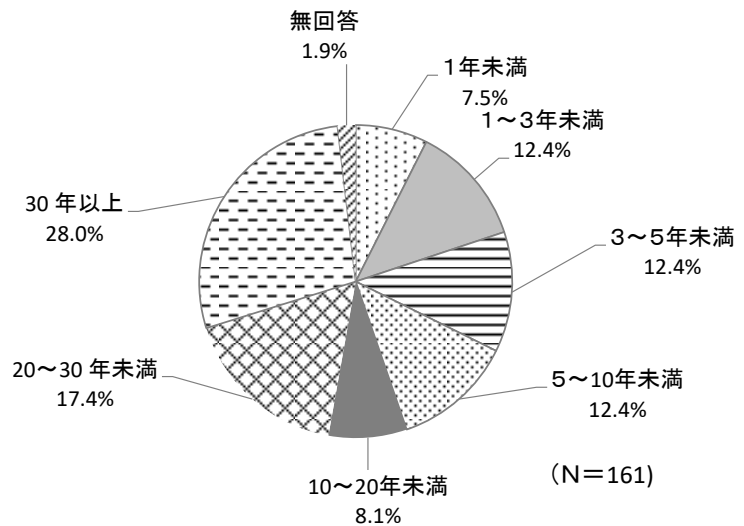
① 地域

- ・回答者の居住地域は「岩井中学校区」が50.3%と最も多く、次いで「猿島中学校区」となっています。



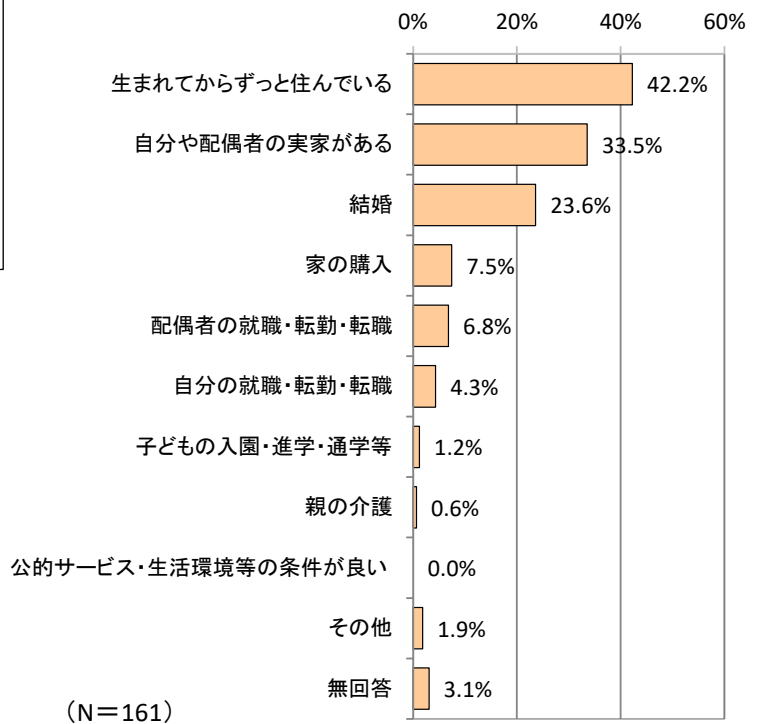
② お住まいの年数

- お住まいの年数は、「30年以上」が28.0%と最も多く、次いで「20～30年未満」となっています。



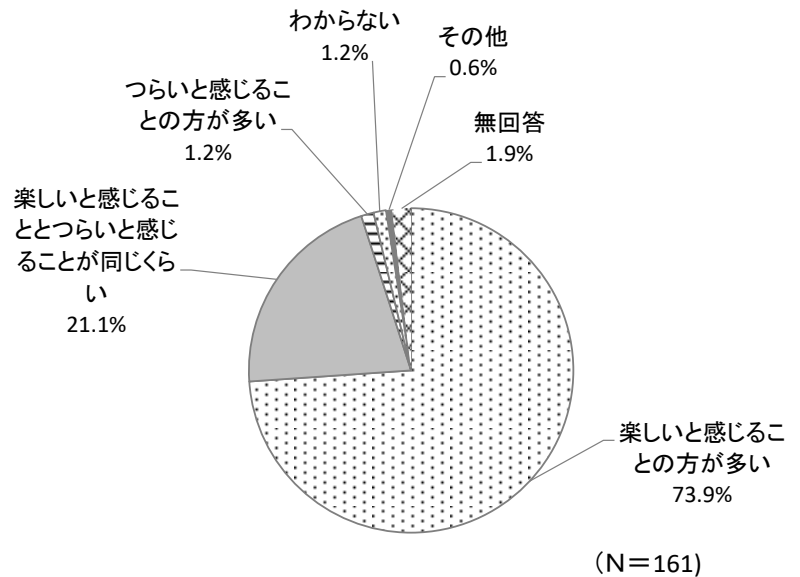
③ 住むきっかけ

- 住むきっかけとしては、「生まれてからずっと住んでいる」が42.2%と最も多く、次いで「自分や配偶者の実家がある」となっています。



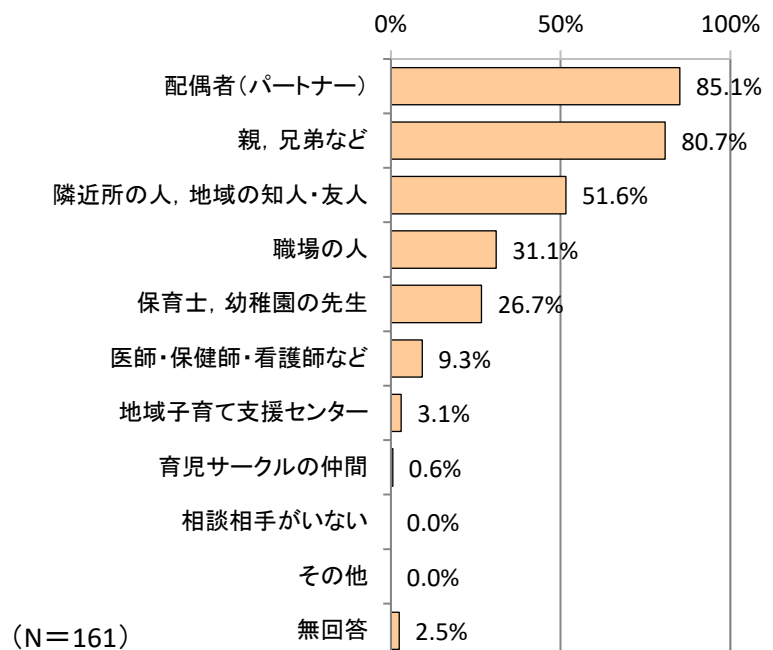
3. 子育てについて楽しいと思うか

- 子育てについては、「楽しいと感じることの方が多い」が73.9%と最も多く、次いで「楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい」の順となっています。



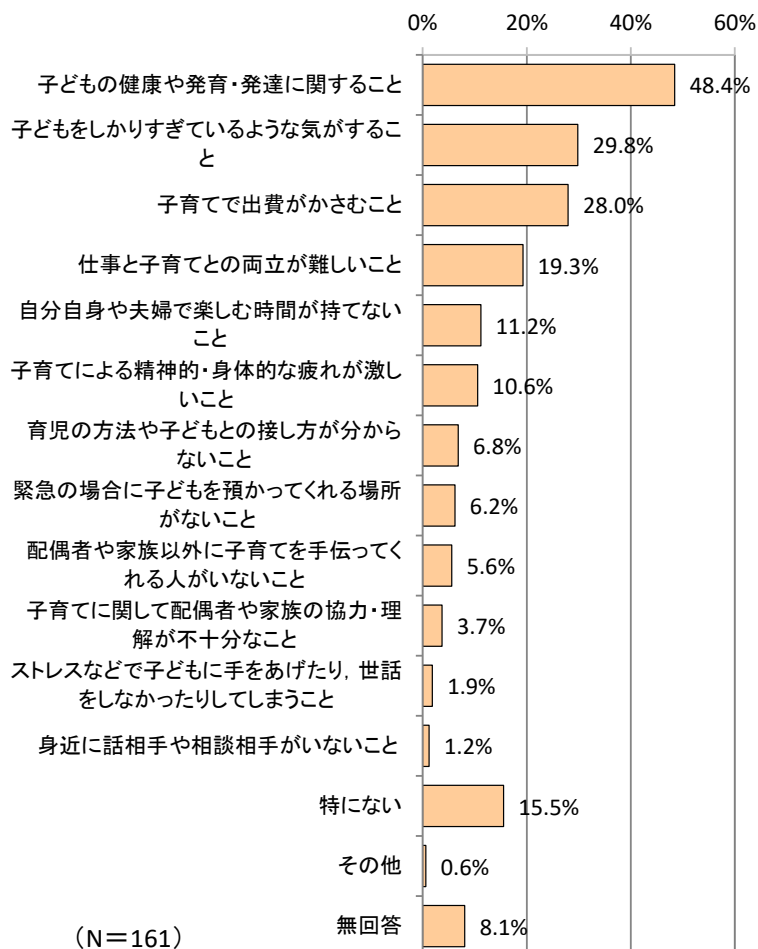
4. 子育てに関する不安や悩みを相談できる人

- 子育てに関する不安や悩みを相談できる人は、「配偶者（パートナー）」が85.1%と最も多く、次いで「親，兄弟など」となっています。
- 「相談相手がいない」への回答がありませんでした。



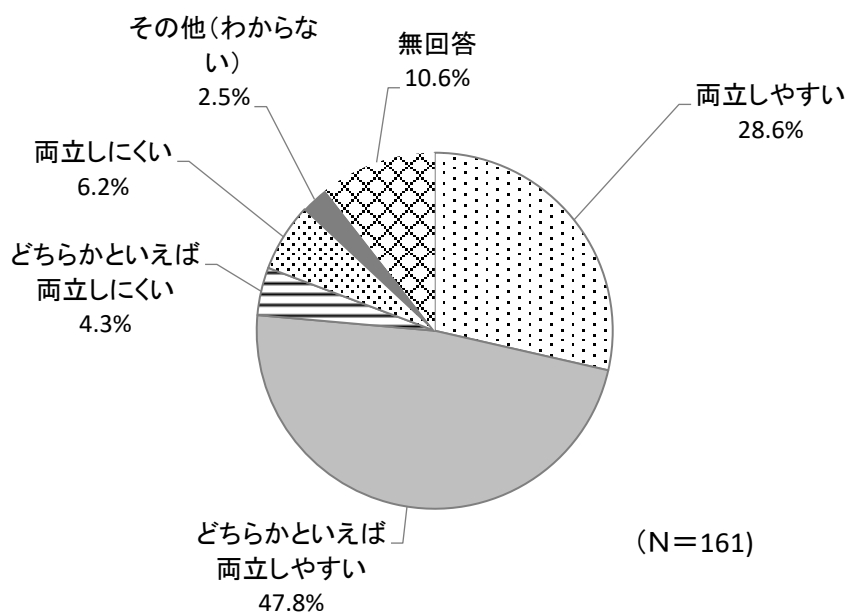
5. 子育てをするうえでの悩みや不安に感じること

- 子育てをするうえでの悩みや不安に感じることは、「子どもの健康や発育・発達に関すること」が48.4%と最も多く、次いで「子どもをしかりすぎているような気がする」との順となっています。



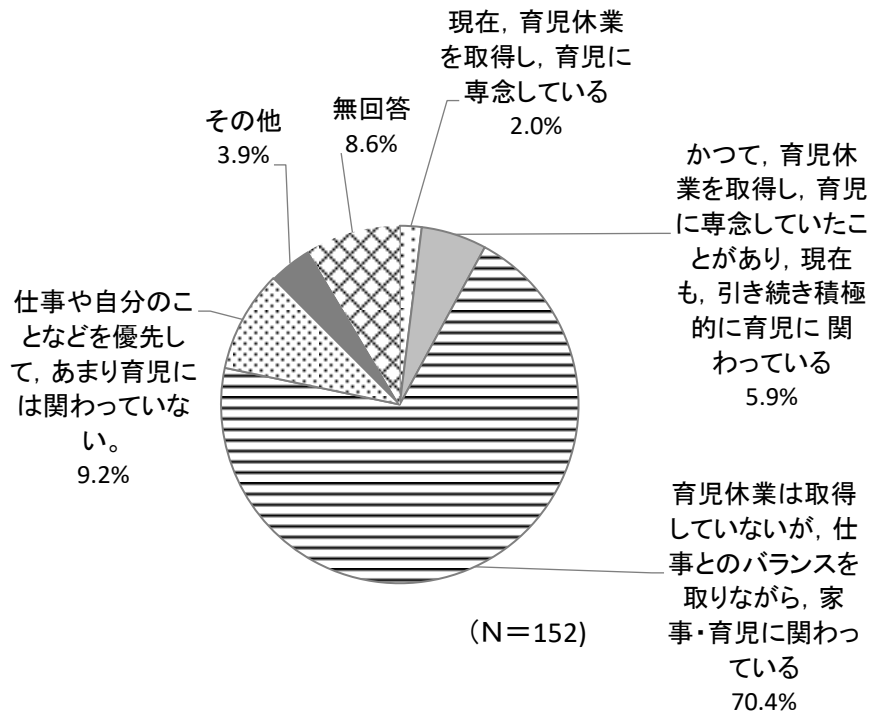
6. 仕事との両立

- 仕事との両立については、「どちらかといえば両立しやすい」が47.8%と最も多く、次いで「両立しやすい」となっています。
- 「両立しやすい」「どちらかといえば両立しやすい」あわせると76.4%となっています。



7. お母さんのみにお伺いします。あなたのパートナー（夫）は、普段、育児に積極的に関わっていますか。

• 夫の育児の関わりは、「育児休業は取得していないが、仕事とのバランスを取りながら、家事・育児に関わっている」が70.4%と最も多く、次いで「仕事や自分のことなどを優先して、あまり育児には関わっていない。」の順となっています。

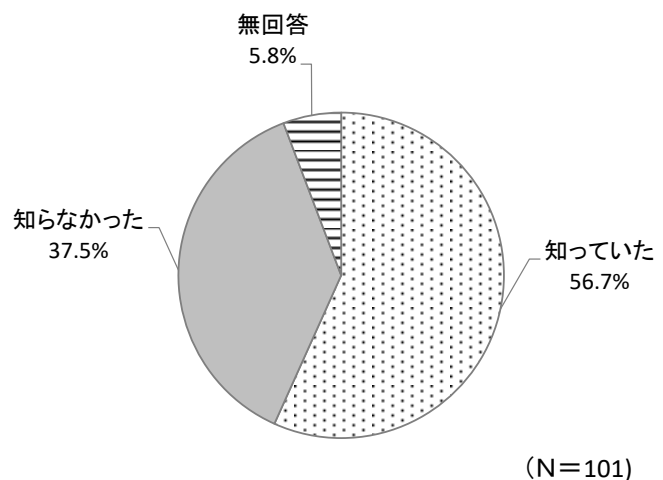


（今回受診されたお子さんを妊娠時に就労していた方のみ（母親に限る）にお伺いします。）

8. あなたは、主治医が働く妊婦さんのために必要だと判断した措置を雇用者に連絡するための「母性健康管理指導事項連絡カード」について知っていましたか。また、知っていた場合に利用しましたか。

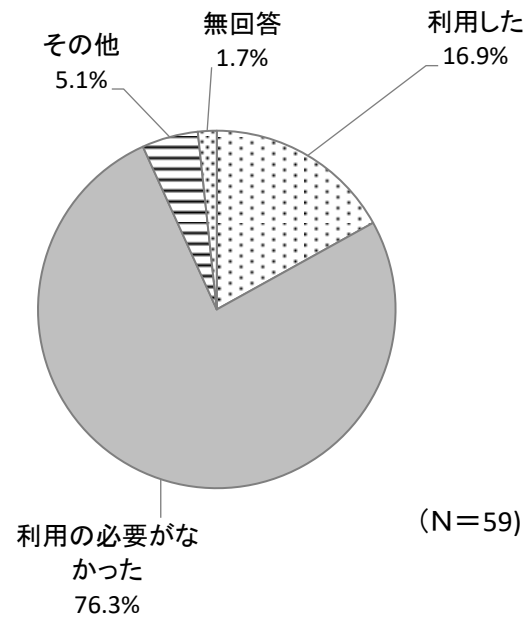
① 周知度

• 「母性健康管理指導事項連絡カード」の周知度は、「知っていた」が56.7%となっています。



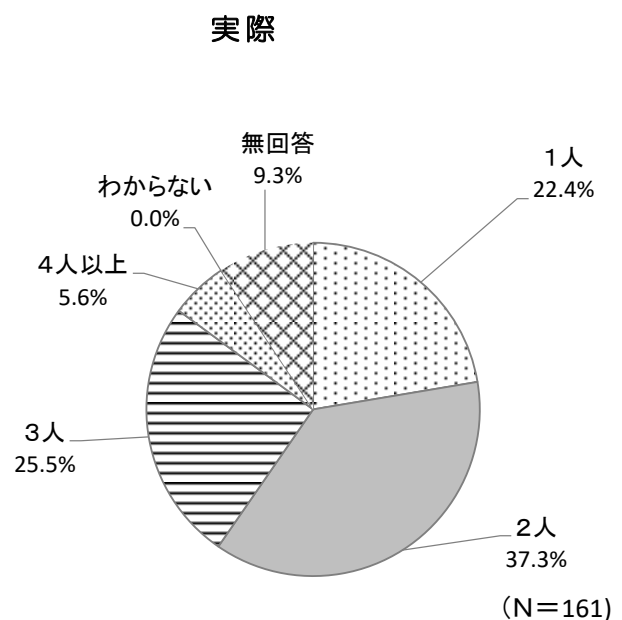
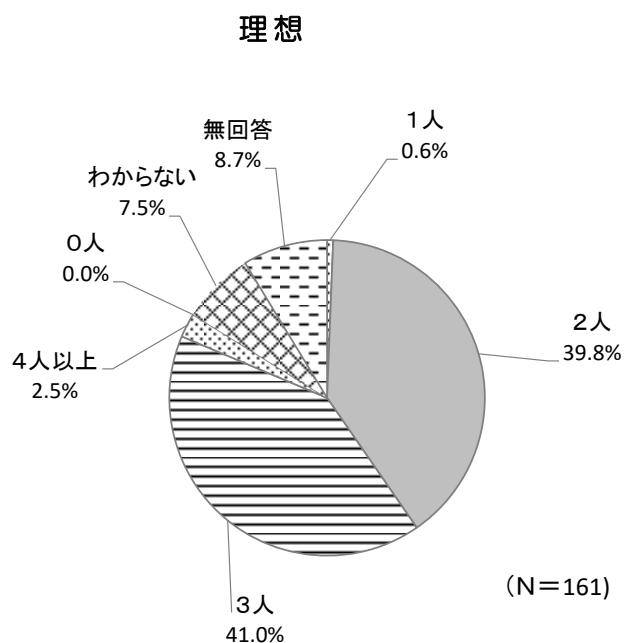
② 利用度

- ・利用度は、「利用した」は16.9%となっています。



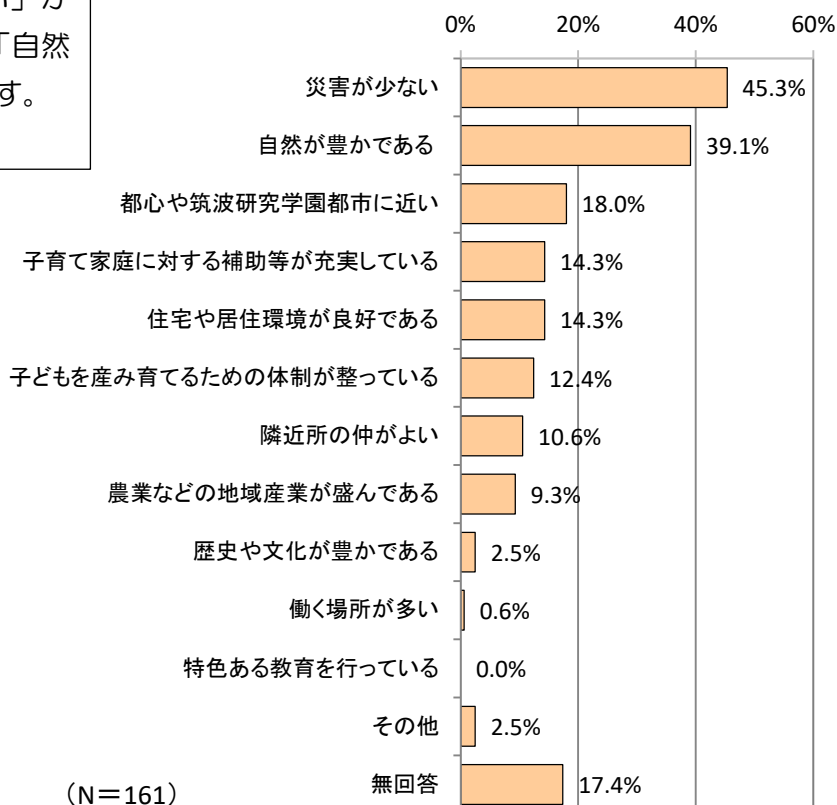
9. お子さんの数

- ・お子さんの人数は、理想では「3人」が最も多くなっていますが、実際は「2人」が最も多くなっています。



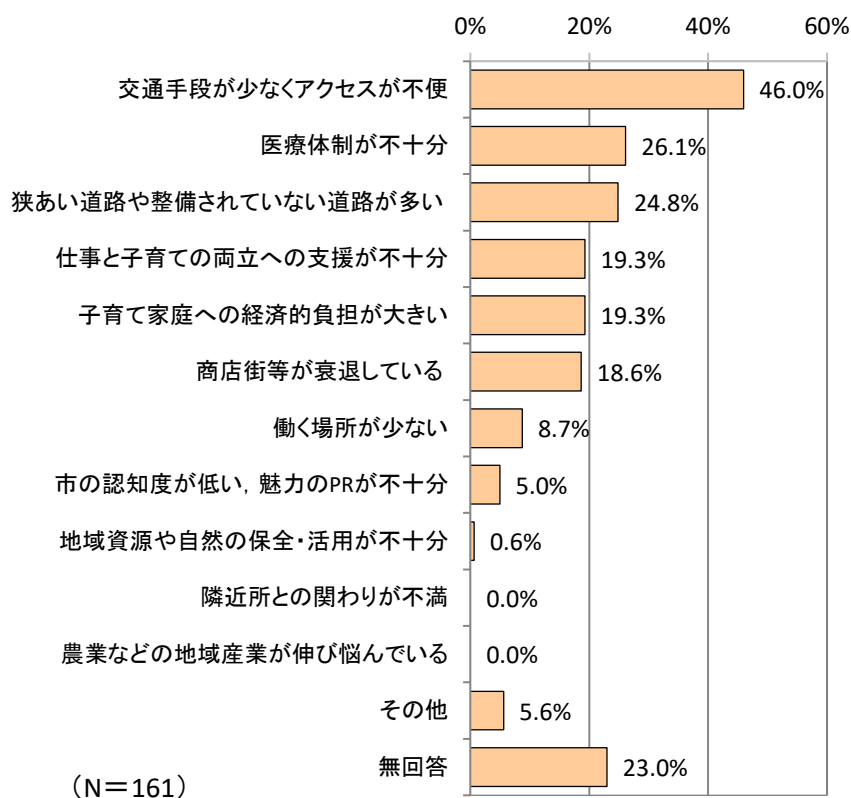
10.坂東市で生活や子育てをするうえでの魅力

- 魅力としては「災害が少ない」が45.3%と最も多く、次いで「自然が豊かである」となっています。



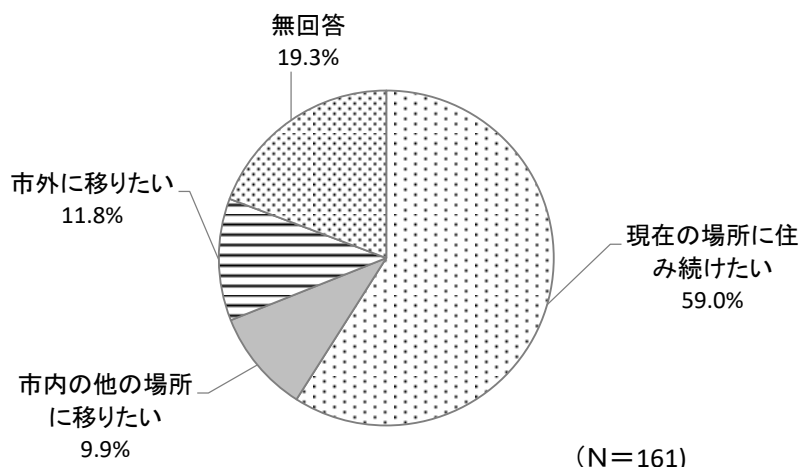
11.坂東市で生活や子育てをするうえでの課題

- 課題としては「交通手段が少なくアクセスが不便」が46.0%と最も多く、次いで「医療体制が不十分」となっています。



12. 今後の居留意向

- 今後の居留意向は、「現在の場所に住み続けたい」が59.0%と最も多く、次いで「市外に移りたい」が11.8%となっています。

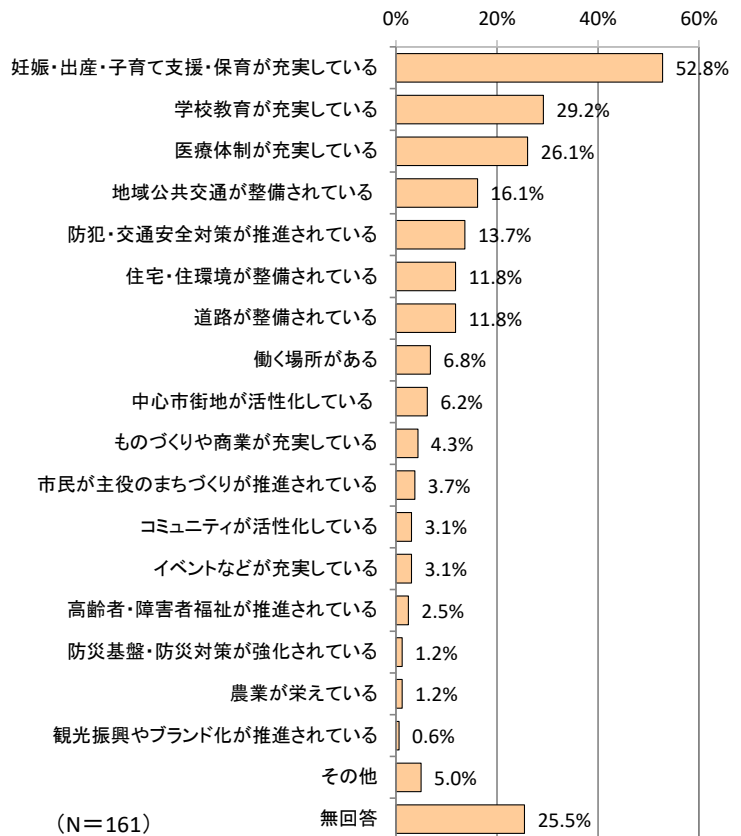


◆移住先のイメージ（自由記載）

- ショッピング施設が充実していて、田舎特有の習慣がないようなまち。小児科専門病院が多くあるまち。
- つくば・守谷のように商業施設が充実して都心へのアクセスもよく、商店街も活気があり、若い世代が多く居住するまち。
- つくば市 保育が充実している
- つくば市や守谷市のように都内にすぐ行けるような電車があって便利な場所
- バスの出が多い。電車がある。
- 境町のように、子育てに力を入れているまち。
- 境町のように、子育て支援をもっとしてほしい。
- 境町は小学校の英語の授業に力を入れたり、キッズスペースもたくさんあり、子育てするにはとてもよい環境だと思う。坂東市には何も無い。
- 交通の便が良い。若い世代が多い。居住地域が良い。
- 交通手段がある所
- 高校が少ないので、選択肢の多いつくば市や、実家のある牛久市など。（電車やバスなど交通機関の整っている環境）
- 産前・産後も子どもたちが成人するまで色々な制度でサポートしてくれるひとり親世帯にももっと優しいところ
- 実際は移動できないが、子どもが多い地域に魅力を感じる。
- 車がなくても不便ではないところ
- 若い世代が多いまち
- 守谷に住みたい。
- 職場の近く
- 病院が充実している（大きい病院がない。産婦人科がない。
- 幼稚園に通いやすい場所

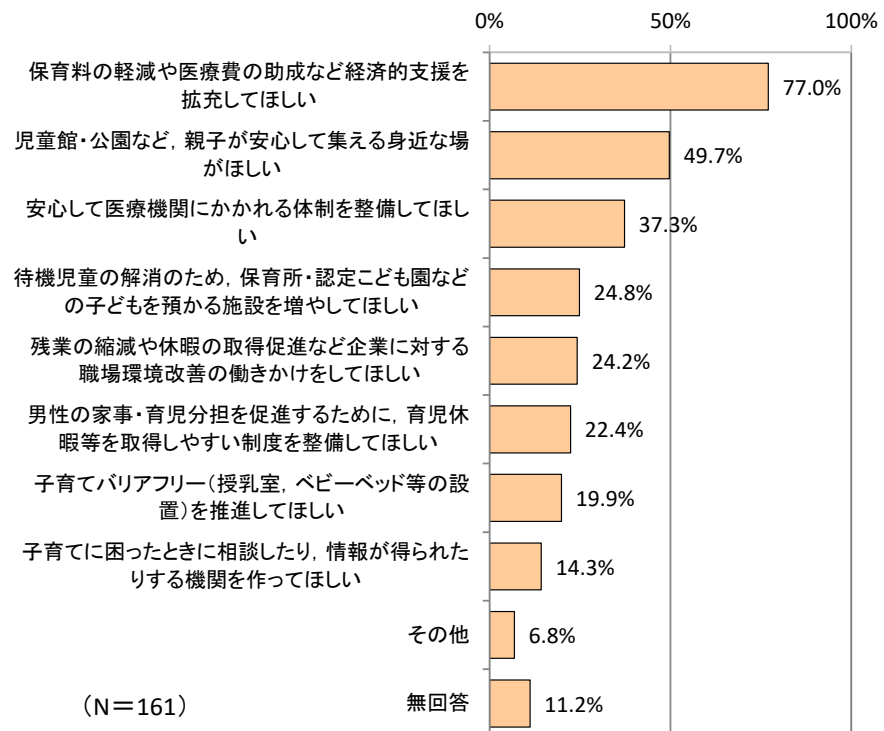
13.坂東市にどのような条件や環境が揃えば住みたいと思いますか。

・住み続けられる条件としては、「妊娠・出産・子育て支援・保育が充実している」が52.8%と最も多く、次いで「学校教育が充実している」となっています。



14.少子化対策として力を入れるべきこと

- 少子化対策として力を入れるべきことは、「保育料の軽減や医療費の助成など経済的支援を拡充してほしい」が77.0%と最も多く、次いで「児童館・公園など，親子が安心して集える身近な場がほしい」の順となっています。



15.どのような子育て支援等に関する取り組みを求めますか。

- どのような子育て支援等に関する取り組みを求めるかについては、「夜間診療のできる病院の誘致」が50.3%と最も多く、次いで「児童遊園（公園）等の身近な遊び場の確保と整備」となっています。

